関係代名詞とは

● 関係代名詞とは，接続詞と代名詞の働きを同時にこなすものこと。本来は２つの文章だったものを，１文で表せるようになるが，通常の会話ではあまり使わない。

● 関係代名詞の前の名詞（先行詞）が人だけならば who を使い，それ以外なら which を使う。また，that はどちらにも使える。

◎ *who や which に対して，that は何かを指し示す働きが強い。よって，先行詞が明らかに限定されているような場合は that しか使わないという例がある。（後述）*

● 関係代名詞は以下のように格変化する。

	主格	所有格	目的格
人	who	whose	whom
人以外	which	whose	which
両用	that	なし	that

● *関係代名詞節は，先行詞を修飾する形容詞節となる。*

主格の用法

● ２つの文章があり，１つ目の文章のよく分からないところを関係代名詞節を使って補足説明するというのが原則。そのとき，２つ目の文章の代名詞を関係代名詞に変化させ，先行詞の後に持ってくる。

◎ 例

○ I have a friend. He lives in Australia.

↓ friend と He は同一人物なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。

I have a friend who lives in Australia.

※ 意味：「私にはオーストラリアに住んでいる友達がいる。」

※ 先行詞（friend）は人なので，関係代名詞 who を使っている。

※ かなり基本的な形。始めに「私には友達がいます」とだけいわれてもどんな友達かが分からないので，あとから「オーストラリアに住んでいる」という説明を加えている。

○ This is a book. It tells us about Japan.

↓ book と It は同一な物なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。

This is a book which tells us about Japan.

※ 意味：「これは日本について書かれた本です。」

※ 先行詞（book）が物なので関係代名詞 which を使っている。

※ 始めに「これは本です」だけでは情報が足りないので，あとからどんな本なのかということを説明している。

©2001-2002 YSK http://www3.to/ysk.site

○ The picture is beautiful. It was painted by him.

↓ picture と It は同一な物なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。

The picture which was painted by him is beautiful.

※ 意味：「彼によって描かれたその絵は美しい。」

※ 関係代名詞節は先行詞のすぐ後に持ってくるので，この例の場合１つ目の文章の途中に割り込んでいる。

◎ 上の例は全て関係代名詞 that を用いても可。

所有格の用法

● ２つ目の文章の代名詞が所有格だった場合，関係代名詞も所有格 whose にする。

● 所有格の場合人でも物でも whose なので，使い分けは考える必要はない。ただし，that は使えないので注意。

◎ 例

○ I made friends with a girl. Her name was Mary.

↓ girl と Her は同一人物なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。

I made friends with a girl whose name was Mary.

※ 意味：「私はメアリーという名前の女の子と友達になりました。」

※ 文の作り方そのものは主格のときと変わっていない。

○ The robot is famous in Japan. Its name is Doraemon.

↓ robot と Its は同一物（人？）なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。

The robot whose name is Doraemon is famous in Japan.

※ 意味：「ドラえもんという名のそのロボットは日本で有名です。」

※ 主格の場合は人か物かを区別しなければならなかったが，所有格では関係ない。

目的格の用法

● ２つ目の文章の代名詞が目的格だった場合，関係代名詞も目的格にする。

● 関係代名詞は接続詞の働きもしているので，２つの文章の間に来なければならない。よって，もともとの位置からは移動する。（例を参照）

◎ 例

○ The boys were interesting. I met them yesterday.

↓ boys と them は同一人物なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。ただしその時 them(whom)を関係代名詞節の先頭に持ってくる。

The boys whom I met yesterday were interesting.

※ 意味：「昨日私が会った男の子たちはおもしろかった。」

©2001-2002 YSK http://www3.to/ysk.site

※ 主格や所有格と同じ方法でやると，関係代名詞が文末に来てしまう。しかしそれでは接続詞としてはうまく機能しないので，先行詞の直後に移動させる。

○ This is the picture. Pablo Picasso painted it.

↓ picture と it は同一な物なので、共通部分を関係代名詞で結ぶ。ただしその時 it を関係代名詞節の先頭に持ってくる。

This is the picture which Pablo Picasso painted.

※ 意味：「これがパブロ・ピカソが描いた絵です。」

◎ 上の例において，関係代名詞 that で書いても可。

● 関係代名詞の目的格は，省略することができる。

つまり，上の２つの例文は，

The boys I met yesterday were interesting.

This is the picture Pablo Picasso painted.

と書いてもいいということ。

that の特別用法

● 一番初めに書いた，that を使わなければならない例。

● that とは本来疑問詞である who や which に比べて，特定のものを指し示す働きが強い。だから先行詞が特定のものに限定されるような場合には関係代名詞 that を使う。

◎ 先行詞に最上級が使われているとき

○ This is the highest mountain that I have ever climbed.

※ 意味：「これは私が今まで登った中で一番高い山だ。」

◎ 先行詞が一つに限定されるような場合

○ She is the only lady that I've ever loved.

※ 意味：「彼女は私が愛したただ一人の女性です。」

※ the only の他にも the first 「最初の」、the last 「最後の」、the very 「まさにその」、the same 「同じ」などがある。

◎ 先行詞が「全て」や「何もない」などの場合

○ Everything that you want is expensive.

※ 意味：「君が欲しがるものは何でも高価だ。」

※ 他にも all, every 「全ての」、any 「どんな～でも」などがある。もちろん先行詞が everyone などでも同様。

○ *There were no people that were laughing.*

※ *「誰も笑っている人はいなかった。」*

©2001-2002 YSK http://www3.to/ysk.site

◎ 先行詞が「人と人以外の両方」の場合

○ There are a boy and his dog that are taking a walk.

※ 意味：「そこに散歩をしている少年と彼の犬がいます。」

※ これは, who と which のどちらを使えばいいか分からないから that になる。

◎ *Wh- で始まる疑問文の内部*

○ *Who is the man that is swimming over there?*

※ *意味：「向こうで泳いでいる男の人は誰ですか?」*

※ *これは"Who is the man who is swimming over there?"としてしまうと who が２回出てきて紛らわしいからという理由。*

関係代名詞の分詞を使った書き換え

● 「関係代名詞＋be 動詞＋分詞」の形の文章は,「関係代名詞＋be 動詞」を省略できる。

◎ 進行形の場合

○ I know the boy who is playing tennis over there.

→I know the boy playing tennis over there.

※ 意味：「私は向こうでテニスをしている男の子を知っています。」

◎ 受動態の場合

○ I have a book which is written in English.

→I have a book written in English.

※ 意味：「私は英語で書かれた本を持っています。」

● 逆にいえば, 分詞を使った文章を関係代名詞を使って書き換えることも可能ということ。

©2001-2002 YSK http://www3.to/ysk.site